

U.S. Indicators

米国 自動車・ガソリン主導で急拡大(17年9月小売売上高)

公表日：2017年10月13日(金)

～コア小売の拡大モメンタムも持ち直し～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
		除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
16/09	+0.7	(+3.1)	+0.6	+1.0	+1.1	+3.2	▲1.6	+0.6	▲0.1	+2.1
16/10	+0.7	(+4.0)	+0.6	+0.7	+0.9	▲1.3	▲1.4	+0.8	+0.0	+3.0
16/11	+0.1	(+3.7)	+0.2	▲0.0	▲0.2	▲0.3	▲0.2	▲0.0	+0.1	▲0.5
16/12	+0.9	(+4.0)	+0.3	+2.2	+3.1	▲0.9	▲0.5	+0.6	▲0.1	+3.2
17/01	+0.5	(+5.6)	+1.1	▲0.6	▲1.6	+1.8	+1.4	+0.9	+0.7	+2.2
17/02	▲0.2	(+4.7)	+0.1	▲0.5	▲1.5	+0.4	▲1.3	▲0.1	▲2.6	▲0.0
17/03	+0.1	(+4.8)	+0.3	▲0.5	▲0.5	+1.7	+2.8	+0.4	+2.0	▲1.0
17/04	+0.3	(+4.5)	+0.3	+0.4	+0.5	▲0.5	+1.8	+0.4	+0.2	▲0.5
17/05	+0.0	(+4.2)	▲0.2	+0.7	+1.1	+1.0	▲1.5	▲0.4	▲0.0	▲3.1
17/06	▲0.1	(+3.0)	▲0.2	+0.4	+0.4	+0.5	▲1.2	▲0.4	+0.7	▲1.4
17/07	+0.5	(+3.7)	+0.5	+0.4	+0.3	▲0.5	▲1.6	+0.6	+0.3	▲0.5
17/08	▲0.1	(+3.5)	+0.5	▲1.3	▲2.1	+0.3	▲1.5	+0.6	▲0.6	+4.1
17/09	+1.6	(+4.4)	+1.0	+2.7	+3.6	▲0.4	▲1.1	+1.1	+0.4	+5.8

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

9月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+1.6%と力強い伸び

17年9月の小売・飲食サービス売上高(速報値、季節調整値)は、前月比+1.6%(前月同▲0.1%)と市場予想中央値の同+1.7%を下回ったが、7、8月合計で0.3%p上方改定されており、実態は市場予想を上回る力強い内容となった。自動車やガソリン販売の増加によって、押し上げられた。自動車販売は、大型ハリケーン「ハービー」の襲来によって8月に大幅に落ち込んだ反動や、ハリケーン「ハービー」、「イルマ」で被災した自動車の買い替え需要の顕在化等によって、急増した。また、ガソリン販売は、価格上昇や買い溜め需要で押し上げられた。

内訳をみると、家電、スポーツ用品・本・趣味用品、その他小売の減少が続くもと、家具、薬局が減少に転じた。一方、自動車・同部品、衣料品、通信販売が増加に転じたほか、建設資材、食品・飲料、ガソリンスタンド、飲食店が加速した。また、百貨店など一般小売が鈍化したものの比較的高い伸びを維持した。

9月の小売・飲食サービス売上高では、自動車・同部品が最大の押し上げ要因

9月の小売売上高の前月比(+1.56%)の寄与度をみると、マイナス寄与の業態では、家電が▲0.02%、薬局が▲0.02%、家具が▲0.01%、その他小売りが▲0.01%となった。一方、プラス寄与の業態では、自動車・同部品が+0.73%と最大の押し上げ寄与となった。それ以外では、ガソリンスタンドが+0.48%、建設資材が+0.14%、食品・飲料が+0.10%、飲食店が+0.09%、通信販売が+0.06%、百貨店を含む一般小売が+0.04%、衣料品が+0.02%と続いた。スポーツ用品・本・趣味用品は0.00%。

9月の自動車を除く小売売上高は前月比+1.0%と加速

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+1.0%(前月同0.5%)と市場予想中央値の同+0.9%を上回ったうえ、7、8月合計で0.4%p上方改定されており、強い内容となった。衣料品、通信販売が増加に転じたほか、建設資材、

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

食品・飲料、ガソリンスタンド、飲食店が加速した。

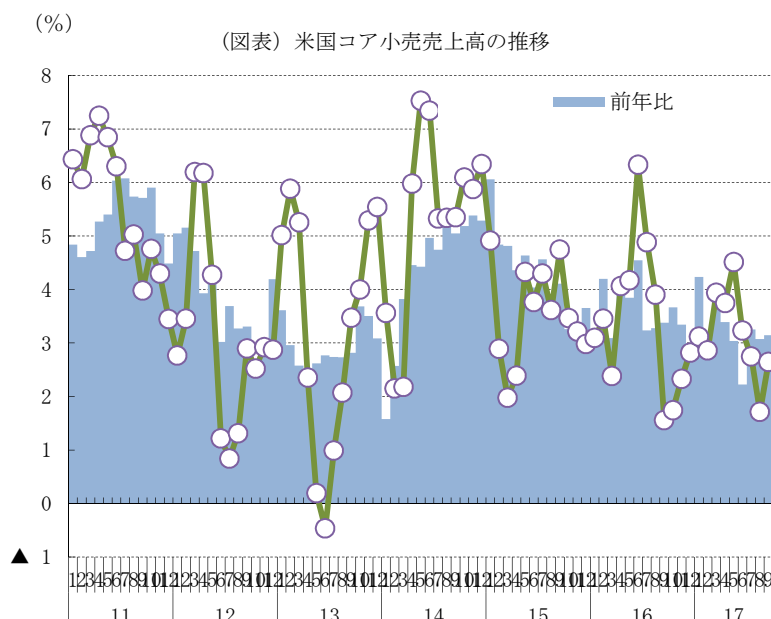
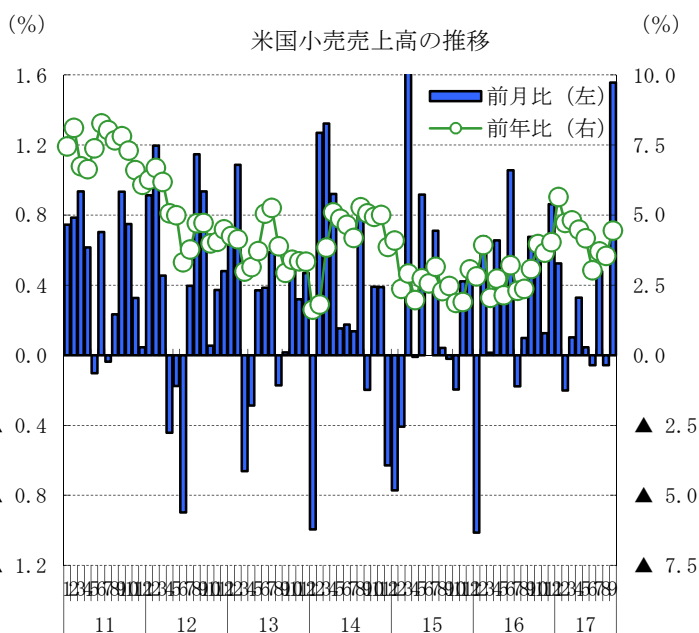
9月のコア小売売上高は前月比+0.4%と加速し、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率+2.6%と再加速

小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比+0.4%（前月同0.0%）と加速したうえ、7、8月合計で0.2%p上方改定された。衣料品、通信販売が増加に転じたほか、食品・飲料、飲食店が加速した。

また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも+2.6%（前月+1.7%）と再加速しており、コア小売売上高の拡大モメンタムは再び強まっている。全米での雇用・所得の増加傾向、株等の資産価格の上昇、消費者マインドの安定など、消費を取り巻く環境は良好な状態を続けている。小売の基調を示すコア小売売上高のモメンタムは、復旧・復興需要などもあり、一段と強まっていくと予想される。

7-9月期の実質個人消費は前期比年率+2%程度に鈍化する見込み

7-9月期のコア小売売上高（平均）は、前期比年率+2.6%と4-6月期の前期比年率+3.2%から鈍化しており、7-9月期の実質個人消費は同+2%程度（4-6月期同+3.2%）に減速すると予想される。



(出所) 米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。